

携帯でパソコン管理

情報漏えいリスク軽減

グローバル・アドバンス 年内にも実用化

【千葉】グローバル・アドバンス（東京都中央区、大野和人社長、03・5543・3682）は、携帯電話を使ったパソコン管理システムの開発にめどを付けた。携帯電話の番号と製造番号で本人かどうかを認識し、パソコンを操作する状態にする。携帯を近づけると、事前登録しておいたパソコンがログインする仕組み。携帯の所有者だけがパソコンを使える形とする。ことで、盗難や情報漏えいのリスクを軽減する。年内にも実用化し、市場投入する。

実用化を目指すシステムは、携帯の全地球測位システム（GPS）機能を活用し、あらかじめログインできる場所を限定することも可能。GPSの位置情報と合致した場所でのみパソコンが使えるため、外出先での情報漏えいのほか、盗難による情報流出のリスクが抑えられる。

のセキュリティ意識向上につなげられる。携帯がパソコンの電源代わりになるため、例えば、会議や休憩などで席を離れると、身につけた

携帯、パソコンはそれぞれサーバとつながっており、どこでもファイルを使ったかというログ（履歴）がデータとして残る。サーバとつながっていない外出先での使用履歴も、オフィスに戻ってログインした際にサーバに送られ、データ化する。情報漏えいの原因特定のほか、社員

携帯も同時に離れるためパソコンは自然にログオフ。画面から情報もれするリスクも抑えられ、出先で安心してパソコンを使えるとしている。

09年中の製品化を目指す。実用化に向けた調整、実験を進める。初期個人向けなど幅広く売り出すの抑えられるAS

P型でサービス提供する。考え、企業だけでなく個人向けなど幅広く売り込む。